

作成日:2023年03月03日

安全データシート

1.【製品及び会社情報】

カタログ番号 656867
製品名 BD® FC Beads 7-Color Kit
構成品番号 91-0840
構成品名 BD® FC Beads PerCP-Cy5.5
会社名 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
住所 東京都港区赤坂4丁目15番1号
連絡先 0120-8555-90
推奨用途及び使用上の制限 研究用試薬

2.【危険有害性の要約】

GHS 分類

| | | |
|-----------|------------------|----------|
| 物理化学的危険性 | 爆発物 | 分類できない |
| | 可燃性ガス | 区分に該当しない |
| | 可燃性エアゾール | 区分に該当しない |
| | 酸化性ガス | 区分に該当しない |
| | 高压ガス | 区分に該当しない |
| | 引火性液体 | 分類できない |
| | 可燃性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己反応性化学品 | 分類できない |
| | 自然発火性液体 | 分類できない |
| | 自然発火性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 分類できない |
| | 酸化性液体 | 分類できない |
| | 酸化性固体 | 区分に該当しない |
| | 有機過氧化物 | 分類できない |
| | 金属腐食性物質 | 分類できない |
| | 鈍性化爆発物 | 区分に該当しない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口) | 分類できない |
| | 急性毒性(経皮) | 分類できない |
| | 急性毒性(吸入:ガス) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(吸入:蒸気) | 分類できない |
| | 急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) | 分類できない |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 分類できない |
| | 誤えん有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) | 分類できない |

| | | |
|---------|----------------|--------|
| 絵表示 | 水生環境有害性 長期(慢性) | 分類できない |
| 注意喚起語 | 該当しない(分類できない) | |
| 危険有害性情報 | 該当しない(分類できない) | |
| 注意書き | 該当しない(分類できない) | |

3.【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物

| 化学名または一般名 | 濃度(%) | CAS 番号 | 官報公示整理番号 | |
|--------------------|-------|-----------|----------|-----|
| | | | 化審法 | 安衛法 |
| エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム塩 | 3.1 | 6381-92-6 | (2)-1265 | |

4.【応急措置】

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。半座位をとる。医療機関に連絡する。 |
| 皮膚に付着した場合 | 多量の水と石けんで洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。 |
| 眼に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をすすぐ。気分が悪い時は、医師に連絡すること。 |

5.【火災時の措置】

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 消火剤 | 粉末消火薬、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | 棒状放水 |
| 特有の危険有害性 | 火災時に刺激性、腐食性、毒性のガスを発生するおそれがある。 |
| 特有の消火方法 | 情報なし |
| 消火を行う者の保護 | 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |

6.【漏出時の措置】

| | |
|---------------------------|------------------------------------|
| 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 | 関係者以外の立ち入りを禁止する。 適切な保護具を着用すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 環境中に放出してはならない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法 及び機材 | こぼれた物質をふた付容器内に掃き入れる。 |

7.【取扱い及び保管上の注意】

| | | |
|----------|---|--|
| 取扱い | | |
| 技術的対策 | 『8. 曝露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 | |
| 安全取扱注意事項 | 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 | |
| 接触回避 | 『10. 安定性及び反応性』を参照。 | |
| 衛生対策 | 取扱い後はよく手を洗うこと。 | |
| 保管 | | |
| 技術的対策 | 消防法の規制に従う。 | |
| 混触禁止物質 | 『10. 安定性及び反応性』を参照。 | |
| 安全な保管条件 | 容器は密閉して換気の良い冷暗所に保管する。 | |

8.【ばく露防止及び保護措置】

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

保護具

| | |
|------------|------------------------|
| 呼吸用保護具 | 適切な呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | 適切な保護手袋を着用すること。 |
| 眼の保護具 | 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。 |

9.【物理的及び化学的性質】

| | |
|----------------------------|---------|
| 物理的状態、形状、色など | 無色の固体 |
| 臭い | 無臭 |
| pH | 6.4-6.6 |
| 融点／凝固点 | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限及び爆発上限界／ 可燃限界 | データなし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度(水) | データなし |
| n-オクタノール/水分分配係数 (log 値) | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | データなし |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

10.【安定性及び反応性】

| | |
|------------|-----------------------------|
| 反応性 | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。 |
| 化学的安定性 | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる |
| 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

11.【有害性情報】

急性毒性

| | |
|---------------------------|-----------------|
| 経口(ラット LD ₅₀) | データ不足のため分類できない。 |
| 経皮(ウサギ LD ₅₀) | データ不足のため分類できない。 |
| 吸入(ラット LC ₅₀) | データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | データ不足のため分類できない。 |
| 眼に対する重篤な損傷性／刺激性 | データ不足のため分類できない。 |
| 呼吸器感作性 | データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚感作性 | データ不足のため分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | データ不足のため分類できない。 |
| 発がん性 | データ不足のため分類できない。 |
| 生殖毒性 | データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | データ不足のため分類できない。 |
| 誤えん有害性 | データ不足のため分類できない。 |

12.【環境影響情報】

生態毒性

水生環境有害性(急性) データ不足のため分類できない。
 水生環境有害性(慢性) データ不足のため分類できない。

残留性・分解性

データなし

土壌中の移動性

データなし

生態蓄積性

データなし

オゾン層への有害性

データなし

13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14.【輸送上の注意】

国際規制

国連番号 危険物として規制されていない。
 国連品名 該当しない
 国連分類 該当しない
 容器等級 該当しない
 海洋汚染物質 該当しない

国内規制

陸上規制情報 消防法の規定に従う。
 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
 航空規制情報 航空法の規定に従う。

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。
 他の危険物のそばに積載しない。

15.【適用法令】

| | |
|----------------------|--|
| 労働安全衛生法 | 該当しない |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) | 第1種指定化学物質(エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩) |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 大気汚染防止法 | 該当しない |
| 水質汚濁防止法 | 該当しない |
| 土壌汚染対策法 | 該当しない |
| 消防法 | 危険物非該当 |

16.【その他の情報】

参考文献

安全衛生情報センター モデル MSDS 情報データベース
 GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム(NITE-Gmiccs)
 NITE 総合検索

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における科学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではございません。又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。

改訂履歴 新規作成 2023年03月03日